

# 理工学 メディアセンター ニュース



Information and Media Center  
for Science and Technology  
Newsletter

## 特集

# ようこそ理工学メディアセンターへ

3年生のみなさん、留学生のみなさん、理工学メディアセンターへようこそ。矢上キャンパスで、より専門性の高い理工学の世界へ足を踏み入れるみなさんをスタッフが全力でサポート致します。

今回の特集では、館内の様子をご紹介します。様々な学習環境をご用意しておりますので、自身のお気に入りエリアを見つけてください。

### ①本館2階

理工学メディアセンターの特徴は理工学分野の蔵書数の多さです。2階の書架にふらっと立ち寄るだけでも飽きることはないでしょう。



## 情報工学科

### 笹瀬 巖 先生の1冊

『幸福論/カール・ヒルティ著』

配架場所：創想ライブラリー

請求記号：SS@194@H1@1-1~3



本書は私が大学院生のとき人生観が変わるほど大きな影響を受けた本です。110年以上も前に書かれたものですが、変化の激しい現代社会においても、心の平静と落ち着きを与えてくれる名言が多く含まれており、感受性の豊かな若い世代の方には、特に薦めたい一冊です。

第一部の中では、幸福とは責任感や愛情を持って、創造と成功をもたらす仕事を着実にこなすことで得られるが、そのためには、あらゆる技術とおなじくコツがあり、怠惰を避け、習慣を活用すれば、ずっと楽に仕事ができると述べています。

「まず何もより肝心なのは、思い切ってやり始めること」、「大切なのは、事をのばさないこと」、「よく働くには、元氣と感興がなくなったら、それ以上強いて働き続けないことが大切」、「明日はひとりでやってくる。そして、それと共に明日の力もまた来るのである」は、私の好きなフレーズです。

私自身は「教育の秘訣は本来、学生を導いて一方では彼らの仕事(勉強)に対する愛好心と熟練とを得させ、他方では適当な時期に、なにか偉大な事柄に生涯をささげる決意をいだかせるように仕向けることである」を座右の銘として、これからも励みたいと思います。

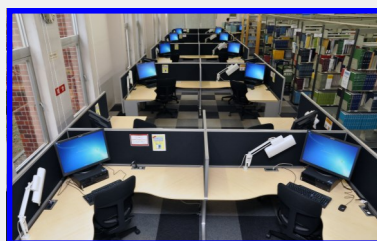
### ②グループ学習室(本館2階)・創想館地階

学習支援の場として個人で静かに、またはグループで話し合いながら利用できるスペースを提供しています。壁に直接数式を書き込める本館2階のグループ学習室はいつも満員です。閉館後も残って勉強したい方は、創想館地階にある自習室(事前予約が必要です)をご利用下さい。試験期間中には翌朝7時まで開室します。



### ③創想ライブラリー(創想館1階)

たまには理工学以外の図書や雑誌もというときは、創想ライブラリーをご利用下さい。当館スタッフ選りすぐりの図書をお楽しみいただけます。矢上に進級すると、貸りられるようになります。話題のあの本この本も、他の人より早く読めるかも？



### ④PCエリア(本館1階・創想館1階)

本館1階は、1人1人のスペースが広々としており、集中してレポートや論文を書きたいときにお勧めです。創想館1階のPCエリアにはスキャナも常備してあります。また、データベースや電子ジャーナル等もご利用いただけます。

理工学メディアセンターがみなさんのお気に入りの場所となるよう願っています。わからないことがあればレファレンスデスク、貸出返却カウンターへ気軽にお声かけ下さい。

### ●新連載スタート！先生おすすめの「私の1冊」

今月号より、理工学部の先生から学生の皆さんにお薦めしたい本を紹介していただくコラムを、リレー形式の連載でお届けします。

師であると同時に人生の先輩でもある先生方に、若い頃に感銘を受けた本、今気になっている本、研究に役立つ本等々、専門分野にこだわらず広い分野の中から「私の1冊」をご紹介します。この「1冊」が新しい世界の扉を開いてくれるかもしれません。

何の数字でしょう？

ヒント：館内の設備数です

答えは紙面のどこかに・・・

今月の1枚：  
慶応工学会様から寄附を  
いただきました



一般財団法人慶応工学会様から、理工学メディアセンター資料購入のために、2014年度も20万円の寄附をいただきました。

この寄附は2010年度より毎年いただいているもので、資料を買い替える購入費に充てています。

今回も写真の資料を含む58冊を購入しました。皆様、是非、ご利用ください。

連載コラムで取り上げているように、電子ジャーナルの契約価格が年々上がり、円安基調でもあることから、メディアセンターでは雑誌やデータベースを維持し、必要な図書を購入することで精いっぱい状況となっています。その中で、利用の多い資料を整え直すために利用できるこの寄附は、大変ありがたいものとなっています。

紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1  
TEL: 045-566-1477  
FAX: 045-566-1486  
E-mail: riko-info@lib.keio.ac.jp  
Web : <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>  
Twitter : <https://twitter.com/scitechmckeio>

電子版は、ΣStarからご利用ください。

5. 電子ジャーナル問題への対応

値上りする電子ジャーナル（以下EJ）問題は、世界共通の問題です。海外では早くから図書館が連携して出版社と価格交渉を行うコンソーシアムを形成していました。日本でも大学図書館コンソーシアム連合（Japan Alliance of University Library Consortia for E-Resources : 以下JUSTICE）が2011年4月に立ち上がり、電子ジャーナルをはじめとした学術情報を、安定的・継続的に確保して提供するための活動を推進しています。購読する館が複数館集まることにより、交渉力が高まり有利な条件で契約をすることが可能になりました。また慶應義塾をはじめ、研究大学と呼ばれる大学では購読金額も多いことからさらに個別に交渉を重ね、より良い条件を引き出す努力をしています。

オンラインの世界では「雑誌単位」ではなく「論文単位」で情報流通が進みますので、著者は自分の論文を多くの人たちに届けるため、無料で読める「オープンアクセス」化という解決策を目指す動きも出てきました。出版社に提出した最終原稿を自分のHPや機関リポジトリで公開する研究者もいれば、出版社にお金を払ってEJを購読していない人も読めるようにする研究者もいます。また最近では全てが無料で読めるオープンアクセス誌も数多く登場しています。これに関わる費用負担は図書館ではなく論文を投稿する研究者になりますが、このために払う料金（Article Processing Charge : APC）は、2012年調査で最低でも\$750となり、研究者にとっては負担です。公的資金を受けた研究成果について、オープンアクセスの義務化、APCの助成が進むことが期待されます。

分野	平均APC価格	APC価格の幅	タイトル数
人文学	\$1,425	750-1800	25
生物医学	\$2,551	1100-5000	487
商学・経済学	\$1,621	750-3300	160
化学	\$2,675	1000-3750	131
地球科学	\$2,631	1000-3750	232
工学	\$2,524	750-3750	424
数学	\$2,099	750-3300	81
物理学・天文学	\$2,479	1800-3750	117
社会科学	\$1,835	750-3750	201

引用：三根慎二（三重大学）「APCをめぐる国際的動向」（第1回SPARC Japanセミナー-2014 2014年8月4日）

[http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2014/pdf/20140804\\_4.pdf](http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2014/pdf/20140804_4.pdf) (参照2015-3-25)

表の典拠：エルゼビアの事例 <http://dx.doi.org/10.6084/m9.figshare.951966>

EJの問題はグローバルな問題です。図書館はEJの購読を維持することを優先して努力を続けてきましたが、値上りだけでなく、為替の変動による影響も大きく自助努力だけでは解決は難しい局面にきています。2015年度からは消費税も課税される予定です。オープンアクセスによる問題解決への道りは長いと予想されます。メディアセンターでは図書予算の増額、外部資金獲得等の努力は続けてまいります。研究者の皆さんにおかれましても、大学や出版社、国に対して研究環境を悪化しないよう声を上げていただくこと、あるいは研究者自身による新たな学術情報流通モデルの設計・提案をしていただけたらと思います。ご理解、ご協力を引き続きお願いする次第です。

理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。（理工学メディアセンターWebサイトのボタンからΣStarに移動できます）



メールマガジンの登録受付中!

新サービス、データベースや電子ジャーナル、各種セミナーやイベントなどのお知らせをお届けします。

こちらのQRコードか、理工学メディアセンターWEBサイトの「申し込む」メニューよりお申し込み下さい。

(対象：慶應義塾大学在籍者)



メディアセンタークイズ

理工学メディアセンターの座席数です。グループでの学習エリア、ミーティングルーム、個別席など、用途に応じて使い分けてみてください。メディアセンターを活用して、スマートな矢上ライフを！！